



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月7日

上場会社名 平安レイサービス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2344 URL <http://www.heian-group.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 相馬 秀行  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 平井 良也 (TEL) 0463-34-2771  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 平成28年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	4,863	9.2	910	27.0	961	24.3	614	27.0
28年3月期第2四半期	4,455	1.4	717	22.2	772	20.3	483	24.0

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 625百万円(29.6%) 28年3月期第2四半期 482百万円(19.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	46.79	—
28年3月期第2四半期	36.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	31,318	16,003	51.1
28年3月期	31,122	15,522	49.9

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 16,003百万円 28年3月期 15,522百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	10.00	—	11.00	21.00
29年3月期	—	11.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	9,784	2.1	1,838	1.3	1,931	0.1	1,217	92.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	14,667,000株	28年3月期	14,667,000株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	1,532,967株	28年3月期	1,532,967株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	13,134,033株	28年3月期2Q	13,134,033株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済の概況は、個人消費は総じてみれば底堅い動きとなっており、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあり、緩やかな回復に向かうことが期待されております。

このような環境下におきまして、当社グループは周辺売上増強、新商品・新サービスによる収益源の確保に努めるとともに、コスト改善による利益率維持向上に努めてまいりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

#### ① 冠婚事業

当事業では、継続して各広告媒体におけるビジュアル面の強化を行うとともに、営業面ではインターネット媒体を中心とした来館につなげるためのツールを拡充し、資料請求や来館者数の増加に努めてまいりました。

一方、教育面では、継続したフロントスタッフの新規対応・提案力強化の研修を実施し、営業力強化を図り婚礼成約率の向上に努めてまいりました。また、各種宴会などの婚礼外利用では、季節ごとの様々なプランを用意し個人や企業・団体への営業活動を継続して実施するとともに、七五三や成人式などの衣装レンタルや写真撮影といった商品の販売強化をいたしました。

その中で、婚礼の小規模化の影響もあり一組単価は前年同期に比べ減少いたしました。コルティエーレ茅ヶ崎においては、ネット系クチコミサイト「みんなのウェディング」2015年度湘南・鎌倉エリアのレストランウェディングやホテル、結婚式場を含めた63店舗の中でクチコミランキング料理部門1位を獲得、ゲストハウス部門でも総合1位を獲得するなど、外部評価を得たこともあり、婚礼施行組数及び宴会件数は前年同期に比べ増加いたしました。

その結果、売上高は182百万円（前年同期比3.3%増加）、営業利益は5百万円（前年同期は営業損失1百万円）となりました。

#### ② 葬祭事業

当事業では、前連結会計年度に開業した「エンディングプレイス鴨宮」、「湘和会館大井」、「湘和会館国府」が通年稼動を始め順調に施行件数を伸ばしたほか、平成28年9月には中小規模の葬儀にも対応可能な新葬祭施設「湘和会堂寒川」（高座郡寒川町岡田）がJR相模線寒川駅前に開業いたしました。

商品面では、社内製作による参加型葬儀のオリジナル商品として、故人を中心として惜別する「追悼壇」、オブジェや装飾を生花と融合させた「追悼生花祭壇」、故人を生花で囲んで送る「花園」、あらゆる音楽ソースを忠実に再現できる「オリジナル大型スピーカー」による音楽葬などの提案を行ってまいりました。

営業面では、各施設の認知度向上や生前相談者数の増加を図るため、オリジナル商品を中心とした提案型の施設見学会や内覧会を通じて営業活動を行いました。加えて、通常の葬祭イベントに比べ来館しやすい企画として、仏壇・墓地関連及び相続相談などを中心とした「メモリアルフェア」を開催し、集客及び周辺売上の増強に努めてまいりました。

また、インターネットを含む各種広告媒体を駆使して、より細やかな情報発信を定期的に行うなど、告知活動の強化にも努めてまいりました。

その中で、当社主要エリアの死亡人口増加率は前年同期に比べ下降いたしました。シェア率は上昇したため、葬儀施行件数は増加となりました。また、葬儀一件単価は前年同期に比べ減少いたしました。

その結果、売上高は4,166百万円（前年同期比10.7%増加）、経費については「湘和会堂寒川」の開業費用が発生しましたが、営業利益は1,230百万円（前年同期比18.7%増加）となりました。

#### ③ 互助会事業

当事業では、継続して行っている既存会員への告知・利用促進活動により、互助会加入者総数に対する施行利用率が上昇いたしました。

その結果、売上高は124百万円（前年同期比5.5%増加）、営業利益は65百万円（前年同期比12.5%増加）となりました。

#### ④ 介護事業

当事業では、売上高は512百万円（前年同期比0.6%増加）、経費面では、継続した人員採用による教育研修や新

規開業に向けた採用強化の費用のほか、既存施設の修繕もあり、営業利益は21百万円（前年同期比27.3%減少）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,863百万円（前年同期比9.2%増加）、営業利益は910百万円（前年同期比27.0%増加）、経常利益は961百万円（前年同期比24.3%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は614百万円（前年同期比27.0%増加）となりました。

なお、各事業の売上高、営業損益はセグメント間の取引による金額を含んでおります。

## （2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の連結財政状態は、総資産は前連結会計年度末に比較して196百万円の増加となりました。流動資産では、法人税等の納付及び有形固定資産の取得等により現金及び預金が889百万円減少、有価証券が投資有価証券からの振替により302百万円の増加となりました。有形固定資産では、新規店舗の取得等により建物及び構築物が77百万円増加、また、その他に集計された建設仮勘定が85百万円増加しております。投資その他の資産では、投資有価証券が取得・振替等により416百万円減少、供託金が930百万円増加しております。

負債合計では、前連結会計年度末に比較して284百万円の減少となりました。流動負債では、法人税等の納付により未払法人税等が155百万円減少いたしました。固定負債では、前払式特定取引前受金が126百万円減少しております。

純資産は、前連結会計年度末と比較して481百万円の増加となりました。

キャッシュ・フローの状況は、営業活動の結果、獲得した資金は434百万円（前年同期比220.6%増加）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益961百万円、減価償却費208百万円が計上された一方で、前払式特定取引前受金の減少126百万円、売上債権の増加54百万円、法人税等の支払額494百万円が生じたことによるものであります。

投資活動の結果、使用した資金は1,177百万円（前年同期比140.2%増加）となりました。これは、投資有価証券の償還による収入200百万円、有形固定資産の取得による支出381百万円、供託金の預入による支出930百万円等によるものであります。

財務活動の結果、使用した資金は143百万円（前年同期比9.5%増加）となりました。これは、配当金の支払143百万円によるものであります。

これにより、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ887百万円減少し、9,504百万円となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月9日に公表いたしました通期の業績予想から修正は行っておりません。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在入手しております情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,515,832	9,626,131
売掛金	223,964	278,019
有価証券	400,279	702,832
商品及び製品	38,373	35,007
原材料及び貯蔵品	114,041	116,113
繰延税金資産	88,091	71,245
その他	100,100	163,097
貸倒引当金	△1,687	△2,469
流動資産合計	11,478,996	10,989,977
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,889,559	3,966,707
機械装置及び運搬具（純額）	96,607	114,737
工具、器具及び備品（純額）	143,130	146,006
土地	7,046,470	7,046,470
その他	43,806	129,030
有形固定資産合計	11,219,575	11,402,952
無形固定資産	29,699	32,822
投資その他の資産		
投資有価証券	634,582	217,809
長期貸付金	30,000	30,000
繰延税金資産	251,169	244,759
供託金	5,510,000	6,440,000
その他	1,968,545	1,960,615
投資その他の資産合計	8,394,297	8,893,185
固定資産合計	19,643,573	20,328,960
資産合計	31,122,569	31,318,937

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	216,645	221,633
未払法人税等	484,198	328,436
掛金解約手数料戻し損失引当金	5,519	4,813
その他	721,494	705,654
流動負債合計	1,427,858	1,260,536
固定負債		
繰延税金負債	36,930	38,367
役員退職慰労引当金	83,912	83,912
退職給付に係る負債	116,457	117,508
資産除去債務	113,717	120,567
前払式特定取引前受金	13,800,433	13,674,389
その他	20,624	19,783
固定負債合計	14,172,075	14,054,529
負債合計	15,599,933	15,315,066
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	785,518	785,518
資本剰余金	2,838,393	2,838,393
利益剰余金	12,540,688	13,010,691
自己株式	△670,468	△670,468
株主資本合計	15,494,131	15,964,134
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,504	39,737
その他の包括利益累計額合計	28,504	39,737
純資産合計	15,522,635	16,003,871
負債純資産合計	31,122,569	31,318,937



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	4,455,082	4,863,490
売上原価	3,133,862	3,313,102
売上総利益	1,321,219	1,550,388
販売費及び一般管理費	603,974	639,442
営業利益	717,245	910,946
営業外収益		
受取利息	5,617	2,671
受取配当金	2,074	2,120
掛金解約手数料	13,197	14,446
掛金解約手数料戻し損失引当金戻入益	501	-
その他	37,771	34,278
営業外収益合計	59,162	53,516
営業外費用		
供託委託手数料	1,893	607
掛金解約手数料戻し損失引当金繰入額	-	1,448
保険解約損	726	469
その他	899	893
営業外費用合計	3,520	3,418
経常利益	772,887	961,045
税金等調整前四半期純利益	772,887	961,045
法人税、住民税及び事業税	263,986	326,837
法人税等調整額	24,993	19,730
法人税等合計	288,979	346,567
四半期純利益	483,907	614,477
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	483,907	614,477

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	483,907	614,477
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△951	11,232
その他の包括利益合計	△951	11,232
四半期包括利益	482,955	625,710
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	482,955	625,710
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	772,887	961,045
減価償却費	212,442	208,687
掛金解約手数料戻し損失引当金の増減額 (△は減少)	△3,350	△706
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△132	782
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,447	1,051
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△1,852	-
受取利息及び受取配当金	△7,691	△4,791
売上債権の増減額 (△は増加)	△10,796	△54,054
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,441	1,293
仕入債務の増減額 (△は減少)	△18,338	4,987
前払式特定取引前受金の増減額 (△は減少)	△102,971	△126,044
その他	△190,939	△67,965
小計	656,144	924,284
利息及び配当金の受取額	9,468	4,513
法人税等の支払額	△530,188	△494,567
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>135,425</b>	<b>434,230</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△25,490	△25,490
定期預金の払戻による収入	27,980	27,980
供託金の預入による支出	△3,135,000	△930,000
有形固定資産の取得による支出	△121,664	△381,447
有形固定資産の売却による収入	120	120
無形固定資産の取得による支出	△13,210	△6,506
投資有価証券の取得による支出	-	△70,000
投資有価証券の償還による収入	2,800,000	200,000
その他の支出	△52,288	△9,726
その他の収入	29,318	17,375
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△490,234</b>	<b>△1,177,695</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△131,279	△143,747
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△131,279</b>	<b>△143,747</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△486,088	△887,211
現金及び現金同等物の期首残高	8,587,384	10,392,097
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,101,295	9,504,886

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚事業	葬祭事業	互助会事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	176,579	3,764,323	14	510,104	4,451,022	4,059	4,455,082
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	117,827	—	117,827	—	117,827
計	176,579	3,764,323	117,842	510,104	4,568,850	4,059	4,572,909
セグメント利益又は損失(△)	△1,529	1,035,941	57,876	29,941	1,122,228	724	1,122,953

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,122,228
「その他」の区分の利益	724
全社費用(注)	△405,708
四半期連結損益計算書の営業利益	717,245

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚事業	葬祭事業	互助会事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	182,349	4,166,327	49	512,999	4,861,726	1,764	4,863,490
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	124,255	—	124,255	—	124,255
計	182,349	4,166,327	124,305	512,999	4,985,982	1,764	4,987,746
セグメント利益	5,909	1,230,174	65,083	21,781	1,322,949	392	1,323,342

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,322,949
「その他」の区分の利益	392
全社費用(注)	△412,395
四半期連結損益計算書の営業利益	910,946

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。